



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 183 号

発行 令和 4 年 5 月 10 日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227

Eメール gikai@vill.kamikoani.lg.jp

ホームページ <https://www.vill.kamikoani.akita.jp>



4月5日 かみこあに保育園入園式

3月定例会

- 令和 4 年度当初予算 P 2
- 令和 3 年度補正予算 P 5
- 審査過程における意見・要望 P 6
- 一般質問 4 氏が登壇 P 10
- 議会の動き、むらのわだい、編集後記 P 14

3月定例会

万円
万円

前年度比
10.6%増
前年度比
7.9%減



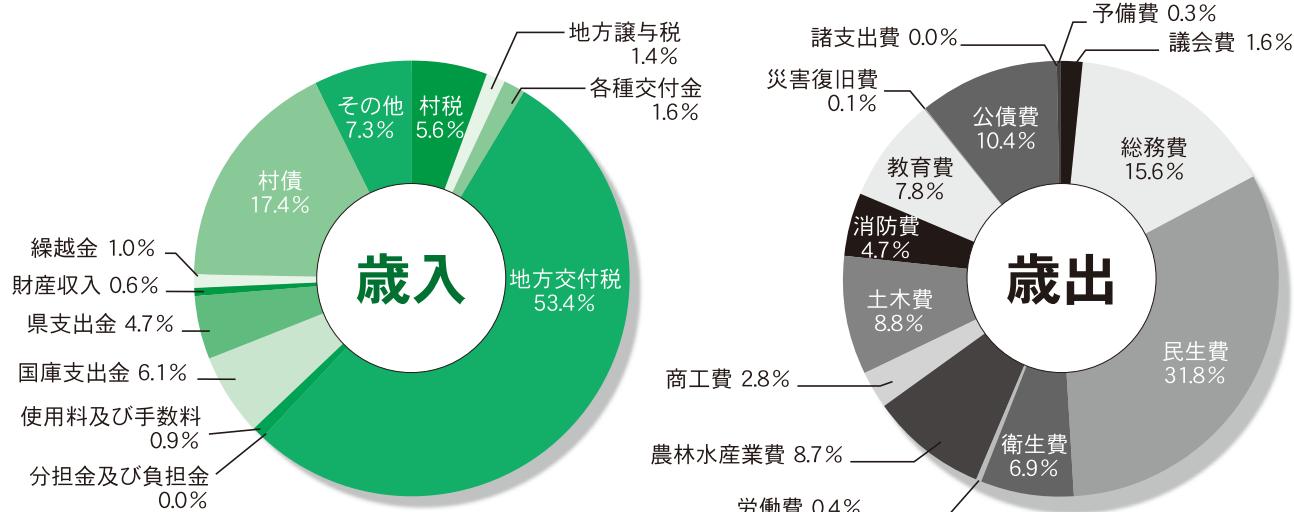
3月3日の本会議

令和4年第2回定例会は、3月3日から15日までの13日間の会期で開催しました。

一般質問は4人が登壇し、14項目について問いました。（10ページ～13ページに掲載）

今定例会では、当初予算関係議案11件、補正予算関係議案6件、条例改正7件が提出され、最終日には、補正予算2件と条例改正1件、指定管理議案1件、変更契約議案2件が追加提案され、全議案を可決しました。また、任期満了に伴う教育委員会委員と人権擁護委員の推薦の人事案件が提出され、無記名投票の結果、どちらも全会一致で同意しました。

一般会計予算の割合



各会計別予算額

※端数処理により計が違う場合があります。

| 会計名 | 予算額 | 前年度比 | 一般会計からの繰出金 |
|------|-----------------|------------|------------|
| 一般会計 | 29億4,252万円 | 10.6% | — |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 3億5,466万円 | 14.4% |
| | 国民健康保険診療施設(診療所) | 1億1,347万円 | △6.8% |
| | 簡易水道事業 | 7,991万円 | △44.3% |
| | 農業集落排水事業 | 6,642万円 | 6.4% |
| | 下水道事業 | 4,985万円 | △63.1% |
| | 介護保険事業 | 5億2,236万円 | 0.2% |
| | 後期高齢者医療 | 4,635万円 | 2.8% |
| | 小計 | 12億3,303万円 | △7.9% |
| 合計 | 41億7,554万円 | 4.4% | — |

一般会計

29億4,252

特別会計

12億3,303

かみこあに保育園建設事業に4億2,000万円

新型コロナウイルス対策

生活応援商品券事業に2,373万円

令和4年度一般会計予算の主な事業内容は、次のとおりです。

民生費

- 高齢者世帯等除雪費助成金 200万円
高齢者世帯等の除雪費負担軽減のため、1世帯8万円を上限に助成するものです。
- 福祉保健センター營繕工事 3,314万円
保健センター屋根改修とホールにエアコンの設置工事を行います。
- 保育園建設事業 4億2,000万円
保育園の園舎、プール、園庭等の整備を行います。
- 児童手当 1,311万円
0歳から中学校卒業まで、子どもの人数や年齢に応じた金額を支給するものです。

衛生費

- 予防接種委託料 764万円
接種費用を全額補助し、疾病の予防を図るものです。
- 健康増進事業 114万円
健康づくり講演会や、各種検診を行なって健康増進を図ります。
- がん検診委託料 545万円
がん検診の受診率向上を図り、早期発見、早期治療につなげるものです。
- ごみ処理、収集運搬委託料 3,874万円
- し尿処理委託料 681万円

総務費

- 村ホームページリニューアル 164万円
デザインの刷新とPR力を強化するものです。
- 秋田県町村電算システム共同事業組合負担金 5,493万円
県内12町村で電算システムの整備、管理、運営に関する事務を共同で行っています。
- 防災広報無線デジアナ改修工事 1,496万円
親局の更新工事を行います。
- 道の駅管理委託料 653万円
- 移住定住奨励金 340万円
村への移住・定住の促進を図るため、村外から村に移住した人へ奨励金を交付するものです。
- 地域おこし協力隊 1,412万円
都市からの人材を受け入れ、地域活性化を図るものです。
- 買い物弱者支援事業(移動販売) 1,316万円
- バス路線維持費補助 1,986万円
バス路線維持のため、バス会社の経営欠損額の一部を補助するものです。

土木費

- 道路除排雪費 8,604万円
村道107路線45.3kmと、その他47箇所8.5km、合計53.7kmを除雪します。
- 村道補修費 (社会資本整備総合交付金) 3,597万円
藤沢中茂線の改良工事を実施します。
- 橋梁補修事業 (道路メンテナンス事業) 4,780万円
南沢橋と杉花橋の補修を行います。

消防費

- 常備消防委託料 1億1,170万円
消防事務を北秋田市に委託します。
- 消防広報車購入 660万円

教育費

- 高校生就学応援金 468万円
村内の高校生に、月1万円を支給し、保護者の負担軽減を図ります。
- 学校柔道場空調設備工事 1,948万円
柔道場にエアコンを設置します。

- 学校給食費補助金 423万円
子育て世代の負担軽減のため、給食実食数に相当する額を補助金として交付するものです。
- 分館補修費 99万円
集落公民館の補修等に係る経費の一部を補助します。
- 生涯学習センター管理費 2,489万円

農林水産業費

- 地域おこし協力隊委託料 (農業振興) 1,011万円
農業の担い手育成のため2人を募集するものです。
- 多面的機能支払交付金 859万円
- 中山間地域等直接支払交付金 954万円
- 農業機械等導入支援補助金 500万円
認定農業者の機械等導入費用の一部を補助するものです。

- 水稻種子購入費 510万円
水稻種子購入費用を助成するものです。

- 地域おこし協力隊委託料 (林業振興) 1,516万円
林業の担い手育成のため3人を募集するものです。

- 造材事業 1,906万円
沖田面字土産沢地区において、15.78haの搬出間伐を実施するものです。

- 林業専用道開設工事 667万円
五反沢字多々羅沢地区と八森沢地区を結ぶ0.9kmの実施に伴う負担金です。

商工費

- 事業者等LED設備導入等促進事業 300万円
工場や事業所等の照明設備をLED化にする費用の一部を補助するものです。
- 新型コロナウイルス対策生活応援商品券事業 2,373万円
村民1人当たり1万円分の商品券を発行し、地元消費の拡大、地域活性化を図るもので

令和3年度補正予算

令和3年度一般会計補正予算は、各科目全般にわたる精算見込みによる減額、地域振興基金積立金の追加で、1271万3千円を減額、最終日には臨時財政対策債1400万円を追加し、予算の総額を30億3734万2千円としました。

また、特別会計は総額で3212万円を減額し、総額を14億3150万6千円としました。
条例議案7件も、原案どおり可決しました。
最終日には、補正予算等6件が追加提案され、いずれも原案どおり可決しました。

条例議案 7議案

今定例会で提出された条例案7件は、原案どおり可決しました。

▼職員の定年等に関する条例の一部改正

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

▼一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

令和3年度補正予算

1400万円を追加しました。

最終日追加議案

▼上小阿仁村国民健康保険税条例の一部改正
▼上小阿仁村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

▼農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

工事請負変更契約 議案 2件

山ふじ温泉をかみこあに観光物産株に指定管理者として指定する議案を可決しました。指定期間は令和6年度までの3年間です。

・南沢橋補修工事
・五反沢地区下水道管渠接続工事



●委員（4人）

畠山 貢 氏（大林）
田中 實 氏（小沢田）
三浦 清治 氏（羽立）
大沢 秀高 氏（下仏社）

●補充員（4人）

石上久美子 氏（堂川）
山田 優 氏（沖田面）
田中 正 氏（小沢田）
鈴木 善彦 氏（沖田面）

令和4年度補正予算

山ふじ温泉の指定管理に伴う、指定管理料700万円を補正し、予算の総額を29億4951万9千円としました。

投票の結果、どちらも全会一致で同意しました。

条例改正議案

▼会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

教育委員会委員 矢旗 政則 氏
(昭和45年11月13日生)
任期：令和4年3月15日～
令和8年3月14日（4年）

3月15日の本会議において、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行い、指名推薦で次とおり決定しました。

任期は、いずれも4年です。

人事案件 2件

教育委員会委員、人権擁護委員の推薦の人事案2件が提案され、無記名投票の結果、どちらも全会一致で同意しました。

選挙管理委員会委員及び補充員が決定

選挙 1件

| 選挙委員会委員 矢旗 政則 氏 (昭和45年11月13日生) 任期：令和4年3月15日～ 令和8年3月14日（4年） | 教育委員会委員 矢旗 政則 氏 (昭和45年11月13日生) 任期：令和4年3月15日～ 令和8年3月14日（4年） | 選挙管理委員会委員 成田 利幸 氏 (昭和26年4月11日生) 任期：令和4年7月1日～ 令和7年6月30日（3年） | 選挙管理委員会委員 成田 利幸 氏 (昭和26年4月11日生) 任期：令和4年7月1日～ 令和7年6月30日（3年） |
|--|--|--|--|
|--|--|--|--|

| ●委員（4人） | ●補充員（4人） | 選挙委員会委員 成田 利幸 氏 (昭和26年4月11日生) 任期：令和4年7月1日～ 令和7年6月30日（3年） | 選挙管理委員会委員 成田 利幸 氏 (昭和26年4月11日生) 任期：令和4年7月1日～ 令和7年6月30日（3年） |
|--|---|--|--|
| 畠山 貢 氏（大林） 田中 實 氏（小沢田） 三浦 清治 氏（羽立） 大沢 秀高 氏（下仏社） | 石上久美子 氏（堂川） 山田 優 氏（沖田面） 田中 正 氏（小沢田） 鈴木 善彦 氏（沖田面） | 教育委員会委員 矢旗 政則 氏 (昭和45年11月13日生) 任期：令和4年3月15日～ 令和8年3月14日（4年） | 教育委員会委員 矢旗 政則 氏 (昭和45年11月13日生) 任期：令和4年3月15日～ 令和8年3月14日（4年） |

**生活応援商品券は財政調整基金を充當し、
昨年以上の額にするべきである。**



本会議で委員長報告する齊藤委員長

事業は雪の多い村で長い冬をがんばって暮らしていくだいてる村民を、元気づけるために、本来であれば村が率先して取り組む事業だと思う。かみこあに観光物産株式会社に負担を強いて行うべきではなく、打ち合わせをし、実績によって支払うようにするべきである。

當初予算議案

歲出

イルミネーションの 経費について

▼意見 イルミネーション事業は雪の多い村で長い冬をがんばって暮らしていくだいている村民を、元気づけます。

総務産業常任委員会に付託された議案について、3月4日から11日まで審査を行い、15日には審査過程における意見・要望に対する御回答と質疑応答を行いました。

一タルサイトが増えると寄付額が増える傾向にあるため、今後ともサイトを増やすよう努めるべきである。又、返礼品については「寄付額の30%以内、地元産品に限る。」との国の指針に基づき、村内業者を優先すべきである。

▼意見 每年、単独補助金として300万円を交付している。かつては介護保険のような国の事業がなかつたので村の福祉事業に協力してもらう目的で交付したものである。現在では営利事業に取り組んでおり、他の事業者と違い土地や建物についても優遇されている。

現在は村長も理事になつていないことから完全にサービス事業団体である。村には他にも福祉事業者が参入しているのでこれらを考慮すれば不公平感があり、村からの介護予防委託などは現状で良いが、単独の補助金については減額していくべきである。

▼回答 村社会福祉協議会
への補助金につきましては
会長と協議する機会があり
地域福祉の充実についてお
願いしております。今後、
福祉事業の見直しやサービ
ス向上に向けた取り組みを
協議してまいります。

▼意見 自主財源の少ない
我が村において、ふるさと
納税の寄付金は貴重な財源
の一つである。

▼回答 一般質問や総務産業常任委員会でもご説明しましたが、現在3社と協議を進めており、今後もポータルサイトの複数化に努めてまいります。また、総務省が示している地場産品の基本的な考え方は、村内において生産された物品又は提供される役務その他これらに類するものと定められております。そして、当該

返礼品等そのもののが地域における雇用の創出や、地域資源の流通に繋がり、地域経済の活性化に寄与するものと考えておりますので、魅力ある返礼品の開発などを出来るだけ村内業者に出品してもらえるよう働きかけをしてまいります。

村社会福祉協議会について

除雪対策について

▼意見 限られた時間内に除雪を終えることを急ぐあまりに、粗末な仕上がりになってしまっている。高齢者や一人暮らしの多い村においてはもつと、村民の暮らしに寄り添った施策を検討すべきである。

▼回答 除雪の業務委託については、割り当てられた路線毎に出動1回当たりの平均作業時間で契約されており、8時間を超える路線もあれば、逆に8時間に満たない路線もあります。また、当然のことながら、降雪量によって作業時間が変わりますが、それは、来年度以降の平均作業時間に反映されることになります。

除雪の仕上がりについては、シーブン開始前の会議で、委託業者の皆さんに、各家々の前には、なるべく雪を残さないことや、道路の底まで除雪していくだけが、降雪の状況、除雪機械の性能や、オペレーターの

技術等により仕上がりに差が出てしまうこともあります。

今シーズンは1月に降雪が集中し、1月までの出動回数の累計が19回と昨シーズンを7回も上回っており、状況によつては、除雪対応が十分でないケースもあつたと思われますので、あらためて、丁寧な作業をお願いしてまいります。

生活応援商品券について

▼意見 これまでの商品券の発行については、2年続けて2万円の交付となつて

いるが、コロナの収束は今だに見通すことができない。住民税非課税世帯などには、臨時特別給付金10万円や暖房費購入助成金1万円を交付したが、課税世帯にはない。

新規事業で移住定住奨励

金を予算措置することで転入して来る世帯も考えられるので、財源は財政調整基金31億円から充当し、子宝祝金のように昨年同様以上に配慮するべきである。

▼回答 新年度予算は、村民1人当たり1万円の交付としておりますが、今後、新型コロナウイルス感染症や、その他の社会情勢の変化など、景気の先行きが見えない状況もあります。

景気の回復が見込めないなど、村内事業者への支援や家庭生活への応援が必要と判断される場合には、交付額の増額など、内容の見直

しを検討してまいります。

▼意見 現在、秋田たかの野外生産試作センターについて

す農協に貸付けしている土地は当初の目的が比内鶏組合を中心飼育農家が増えた事で、秦皇岛まで引取る解消策として、地元で雛生産施設の建設を当時のあきた北央農協と村が協議し、補助事業で導入したものである。

近年、村での比内地鶏飼育農家及び羽数も激減している状況において、その役目は十分に果たしたものと思われる。そこで雛供給施設は補助事業のため解体や返還を求めるものでは無いが、農協との契約は事前交渉が無い限り毎年自動的に継続が更新されている。

農協から委託された農業団体は、賃貸料を滞納する他、供給施設とは別に成鶏ハウスも増やし経営を拡大しているが、村内・北秋田管内には飼育を廃止したハ

ウスも数多くあり、そちらなどに移転するよう要望するべきである。

過去に騒がれた経緯があり、隣接する誘致企業への環境が懸念されているので、本

家の野外生産試作センターの機能を發揮させるためにも成鶏ハウス地の返還を求めることがあります。併せて農業研修生の募集については、この土地を利用しながら畑作ができるよう地域おこし協力隊での対応に切り替え、村で農業をやりたい人を募集すべきである。

▼回答 大林菊桜岱の比内地鶏施設の貸借については、平成16年6月1日に当時のあきた北央農業協同組合と10年間の賃貸借契約を締結しております。

その後、平成23年12月1日に、契約面積と3年間の契約期間、及びその後1年毎に自動更新できるよう内容を変更した契約を締結し現在に至っております。

施設周辺の環境について

は、環境保全に基づく覚書

を締結し、改善計画が提出されるなど、環境保全対策はとられていると認識しておりますが、異臭等の苦情があつた場合には、改めて対応をお願いしてまいります。

この比内地鶏施設には村の方が雇用されている側面もあり、また、相手方の経営にも関わる問題であり、施設誘致のいきさつなどを考慮しながら対応してまいります。

上小阿仁村写真展について

交流人口増は村の重要施策である。観光協会や地域おこし協力隊、観光物産などを企画に入れ、毎年、多額の補助金を出しているD M O 秋田犬ソーリズムにも協力を依頼すべきである。

▼回答 令和4年3月1日

から道の駅で実施している

写真展は、昨年9月に秋田犬ソーリズムの事業として実施した写真展を発展させる形で、観光協会や地域おこし協力隊、観光物産、N P O 法人こあに食農観応援隊などの村内の関係団体が計画したものであります。

新年度予算に計上した写真展は、これを継続・発展させる目的のものであります。予算の執行にあたりましては、村内の関係団体により計画を練り直したうえで、それに合わせた形で対応してまいりたい

と思います。

また、村内関係団体の育成のためにも、秋田犬ソーリズムには、実施方法に対するアドバイスや、広報・周知などの面での協力をお願いしてまいりたいと考えております。

学校給食について

▼意見 令和3年度の4月

から1月分までの賄材料費のうち、村内業者からの調達率が24%しかない。村内業者の育成のため、給食材料は村内から調達すべきであります。



総務産業常任委員会の予算審査の様子

なつていると思われますが、

村内から購入するよう議会から要望があつたことを学校側に伝えて、栄養教諭等の協力により、なるべく村内から調達するよう努めてまいります。

保育園の建設事業について

▼意見

工事費は全額過疎債を充当することであるが、村の木材を使用した場合、森林環境譲与税の充當ができる。「森林環境譲

設した保育園」として全国にPRしながら、森林環境譲与税を充当すべきである。また、持続可能な開発目標(SDGs)に対する村の取り組みの一環として太陽光発電を導入し、ソーラーパネルの検討と、今後の維持管理のため、2階部分の屋根構造も、1階部分と同じく落雪構造に検討すべきである。

してまいります。なお、太陽光発電設備の導入について設計業者へ確認したところ、50kW程度の発電設備を想定し、発電パネル、付属機器、工事費を含めると税抜きで5760万円。夜間の電力も必要であれば蓄電設備(バッテリー)が別途必要になり、使用時間帯によつて金額が大きく変わり、数百万から数千万規模のようになります。さらには、蓄電設備は10年程度で更新が必要になることから、トータルコストとして大きなデメリットとなるようになります。2階部分の屋根の構造については、設計プロセスを踏まえ、園児たちの安心・安全を基本理念に掲げながら設計業者と相談してまいります。

村独自の支援策について

▼意見 子育てをはじめ、移住・定住、産業振興等、村の独自支援策を含む制度について、活用が図られるように、わかりやすいパン

▼回答 令和4年3月1日

から道の駅で実施している

写真展は、昨年9月に秋田犬ソーリズムの事業として実施した写真展を発展させる形で、観光協会や地域おこし協力隊、観光物産、N P O 法人こあに食農観応援隊などの村内の関係団体が計画したものであります。

新年度予算に計上した写真展は、これを継続・発展させる目的のものであります。予算の執行にあたりましては、村内の関係団体により計画を練り直したうえで、それに合わせた形で対応してまいりたい

と思います。

また、村内関係団体の育成のためにも、秋田犬ソーリズムには、実施方法に対するアドバイスや、広報・周知などの面での協力をお願いしてまいりたいと考えております。

▼回答 令和4年3月1日

から道の駅で実施している

写真展は、昨年9月に秋田犬ソーリズムの事業として実施した写真展を発展させる形で、観光協会や地域おこし協力隊、観光物産、N P O 法人こあに食農観応援隊などの村内の関係団体が計画したものであります。

新年度予算に計上した写真展は、これを継続・発展させる目的のものであります。予算の執行にあたりましては、村内の関係団体により計画を練り直したうえで、それに合わせた形で対応してまいりたい

と思います。

また、村内関係団体の育成のためにも、秋田犬ソーリズムには、実施方法に対するアドバイスや、広報・周知などの面での協力をお願いしてまいりたいと考えております。

学校給食について

▼意見 令和3年度の4月

から1月分までの賄材料費のうち、村内業者からの調達率が24%しかない。村内業者の育成のため、給食材料は村内から調達すべきであります。

なつていると思われますが、

村内から購入するよう議会から要望があつたことを学校側に伝えて、栄養教諭等の協力により、なるべく村内から調達するよう努めてまいります。

保育園の建設事業について

▼意見

工事費は全額過疎債を充当することであるが、村の木材を使用した場合、森林環境譲与税の充當ができる。「森林環境譲

設した保育園」として全国にPRしながら、森林環境譲与税を充当すべきである。また、持続可能な開発目標(SDGs)に対する村の取り組みの一環として太陽光発電を導入し、ソーラーパネルの検討と、今後の維持管理のため、2階部分の屋根構造も、1階部分と同じく落雪構造に検討すべきである。

してまいります。なお、太陽光発電設備の導入について設計業者へ確認したところ、50kW程度の発電設備を想定し、発電パネル、付属機器、工事費を含めると税抜きで5760万円。夜間の電力も必要であれば蓄電設備(バッテリー)が別途必要になり、使用時間帯によつて金額が大きく変わり、数百万から数千万規模のようになります。さらには、蓄電設備は10年程度で更新が必要になることから、トータルコストとして大きなデメリットとなるようになります。2階部分の屋根の構造については、設計プロ

セスを踏まえ、園児たちの安心・安全を基本理念に掲げながら設計業者と相談してまいります。

村独自の支援策について

▼意見 子育てをはじめ、移住・定住、産業振興等、村の独自支援策を含む制度について、活用が図られる

フレットの作成配布や、ホームページ、マスコミ等に情報を掲載し、積極的に啓蒙を図り、村内外に周知すべきである。

▼回答 子育てをはじめ、本村への移住・定住に関するサポートや暮らしに関する移住ガイドブックを作成しておりますので、新しい施策や拡充した部分を網羅し、刷新してまいります。また、新年度においては、ホームページのリニューアルも計画しておりますので、村の魅力を村内外に発信してまいります。

▼意見 イノシシ用檻3台を購入するが、獵友会は人數が少なく、設置や監視が大変になっており、村の会計年度任用職員の対応など鳥獣被害が増える前に対策を急ぐべきである。

▼回答 令和3年度には、村内の各地でイノシシの出没が報告されており、今後、

▼回答 子育てをはじめ、本村への移住・定住に関するサポートや暮らしに関する移住ガイドブックを作成しておりますので、新しい施策や拡充した部分を網羅し、刷新してまいります。また、新年度においては、ホームページのリニューアルも計画しておりますので、村の魅力を村内外に発信してまいります。

▼意見 イノシシ用檻3台を購入するが、獵友会は人數が少なく、設置や監視が大変になっており、村の会計年度任用職員の対応など鳥獣被害が増える前に対策を急ぐべきである。

被害が多発するのではないとかと心配されているところであります。

野外生産試作センター周辺でもイノシシが出没していることから、捕獲用の檻を購入し捕獲方法を試験することにしており、職員等による対応についても検討が必要と考え、わな免許取得のための予算を計上しております。

イノシシの捕獲については、他の地域の対応も参考にしながら、手探りでの対策となります。すぐ実績につながるかどうか不確かな部分もありますが、獵友会と協力して被害防止対策に取り組んでまいります。

するべきである。
また滞納繰越金については、当初予算額が大幅に減額されており見直すべきである。

▼回答 延滞金の徴収につきましては、現年課税分を徴収しており、新年度からは過年度分の滞納繰越分においても徴収してまいります。滞納繰越金につきましては、村民の平等と公平性を欠かないよう、法令及び条例を遵守し、更なる滞納額の減少に努めてまいります。

イノシシの捕獲については、他の地域の対応も参考にしながら、手探りでの対策となります。すぐ実績につながるかどうか不確かな部分もありますが、獵友会と協力して被害防止対策に取り組んでまいります。



3月11日東日本大震災の犠牲者に対して黙祷

するべきである。

また滞納繰越金について

は、当初予算額が大幅に減額されており見直すべきである。

第1回臨時会

1月28日(金)

・除雪費

2050万円追加

第1回臨時会が開催され、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業などの一般会計補正予算と、工事請負変更契約議案をいずれも全会一致で可決しました。

除雪の一斉出動回数が例年より多く、予算の不足が生じるため、約7回分の一斉出動に係る経費を追加しました。

可決した議案

◆一般会計補正予算

・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
5450万円追加

◆変更契約

・減債基金積立金
3334万円追加
地方交付税の交付額について、財源調整のため積み立てるものです。

住民税非課税世帯と新型コロナウイルス感染症の影響で家計急変のあつた世帯に対して、1世帯当たり10万円を支援する給付金です。

・工事名
南沢橋補修工事
・契約金額
(変更前)
4840万円
(変更後)
5432万7900円

質問

ふるさと納税仲介サイト数を増やし

返礼品は村内調達するべきでは

村長



【河村良満議員】

仲介サイトは2社増やし

返礼品業者は公募する

村営学習塾開設の意向 調査の実施について

者から村営学習塾の設置要望が私に対してあつた。保護者や生徒にアンケートを実施し、希望が多かつたら村営学習塾を設置する考えはないか。

村長 教育委員会で、昨年の11月に実施したアンケート結果がある。教育長から説明する。

ふるさと納税仲介サイト(申し込み窓口)の増設について

河村議員 この質問も以前、中田村政時に質問した。改めて考えを聞きたい。我が村には学習塾がなく、村営の学習塾を開設できないかと質問した。教育長の答弁は「当面、必要ないもの。」中田村長からは「意向調査し、必要であれば検討する」と答弁があつたが、それは、当局の言い分であり、保護者や生徒の思いではない。前回の質問後、数名の保護

村長 どうしても必要であれば、再度、アンケートを行い、多くが参加するとなれば対応したい。

河村議員 学習塾に特化したアンケート調査はするのか。

教育長 昨年11月に「習いごとについてのアンケート」を行なった。小学校で習つてみたいものうち、学習関連では英会話が2人、習字、英語、勉強が各1名、中学校では、習字、英語が各1人であつた。

ながる地元のかみこあに観光物産一社にすべきと考えるがいかがか。

村長 ふるさと納税のポータルサイトの複数化については、中間事業者と協議を進めている。併せて、運営費や決済代行手数料などについても交渉しており、経費率の削減を図っていく方向で考えている。新年度の早い段階でポータルサイトの複数化を実施するよう準備をしている。

返礼品は地元の観光物産一社にすべきではないかとの質問については、単一の返礼品事業者となると、寄付額に大きな影響を及ぼすことが懸念される。事業者によって異なる返礼品を扱つており、得意分野があるものと考えている。村としては、いずれの事業者であろう、いつでも、返礼品を通じて村をPRしてくれると考えておられる反面、低価格で収益が期待できない等の課題もある。今後、皆伐後の地形や条件等により検討していくたい。再生可能エネルギーへの活用についても、色々な角度から検討したい。

植樹用の苗木について

河村議員 村は良質の秋田杉の产地として、「秋田杉」を植えてきた。杉は製品になるまで50～60年が必要で、木材価格の低下により、ものは多くの収入が得られない時代になった。以前、脱炭素社会に向けた取り組みとして、バイオマス発電所建設構想を質問した。その燃料として、早生樹や超早生樹を村有林に植樹してはどうか。

河村議員 村は良質の秋田杉の产地として、「秋田杉」を植えてきた。杉は製品になるまで50～60年が必要で、木材価格の低下により、ものは多くの収入が得られない時代になった。以前、脱炭素社会に向けた取り組みとして、バイオマス発電所建設構想を質問した。その燃料として、早生樹や超早生樹を村有林に植樹してはどうか。

河村議員 村は良質の秋田杉の产地として、「秋田杉」を植えてきた。杉は製品になるまで50～60年が必要で、木材価格の低下により、ものは多くの収入が得られない時代になった。以前、脱炭素社会に向けた取り組みとして、バイオマス発電所建設構想を質問した。その燃料として、早生樹や超早生樹を村有林に植樹してはどうか。

質問

入札制度の見直しは

村長



【伊藤秀明議員】

関係機関から情報を得て
内容を検討する

入札制度の見直しについて

伊藤議員 設計の専門職員がいないので、業者に依頼しているが、特定の業者だけに依頼することは避けるべきである。入札は、村内業者が参加できるよう分離発注等の見直しが必要ではないか。県では、低入札価格調査制度を導入しているので、村民の納得のできる入札制度にしてもらいたい。

伊藤議員 延滞金の徴収について
議会のたびに未納金解消に努めると答弁しているが、強制施策はなく、未納・欠損金額が増えていく。地方税法等で定める延滞金は徴収しないのか。厳しい対策を講ずるべきではないか。

村長 地形等の理由により受信が困難な地域は有線網

村長 公共工事の入札及び契約は関係する法律や国県の指導を基に対応している。設計等の業務委託については、誤解されることのないよう注意して対応する。分離発注等については、関係機関から情報をお聞き、できる内容について検討していく。

テレビ共同受信施設管理維持費の助成及び民放ラジオ難聴解消支援事業について

伊藤議員 地上デジタル放送の受信が良好でない集落がある。集落によつては共同受信施設を設けている地区があるが維持費等に付して補助はできないか。併せて、村ではラジオがよく聞こえないでの、難聴の解消をしてはいかがか。

村長 3回目は43%が接種済である。子どものワクチン接種は4月を予定している。副反応は特に問題ない。3月接種のワクチンは2社を使用するが、小児はファイザー社を使用する。

本村の場合、ほとんどの集落が共同組合を設置して維持管理している。改修費や維持管理費の補助については、今後、検討する。

中止となつた諸行事に対する補助金については、中止により支援が必要かを判断できないので、主催団体等からの情報を得て、状況を把握したい。

保育園建設を含む新年度の新規事業について

村長 保育園建設にあたっては、可能な限り地元産材の活用を図り、C LT等も使用する提案をいただいている。
新年度事業の内容は、人口減少、子どもを増やす対策、農林業関係の地域おこし協力隊、農業生産体制構築、林業担い手対策、商工業のコスト削減等導入助成等、各分野での振興策を計画している。

質問

5歳から11歳への 新型コロナウイルスワクチン接種を早期に

村長



【武石辰久議員】

4月から診療所で

個別接種を予定している

く行うべきである。その時
期と方法を伺う。

子供の新型コロナウ イルス感染早期予防 対策について

村長 4月から診療所において個別接種を予定している。理由としては、3月に18歳から74歳までの接種を2週間にわたり4日間を予定していることや、大人と子供では接種量や希釈の仕方に違いがあり、誤接種防止を図ること、小児科医の確保が必要なこと、2回接種に必要なワクチンの確保が確定していないためである。

すると、家庭待機となるが、期間が長い場合は、学校の授業をどのような方法でカバーするのか。タブレット端末が1人1台準備されているが、各家庭で連絡やりモート授業を受けられる体制づくりが早期に必要と思うが、現状と今後の実施方法を問う。

持ち帰らせて、使用が可能なことを確認している。校内での使用機会を増やし、仮想オンライン授業を行い習熟に取り組んでいる。非常事態に備えて、体制を整えていく。



中学校でタブレットを使った仮想オンライン授業の様子

学校休業時(学年・学 級閉鎖)における授 業等の代替、補充対 策について

武石議員 新型コロナウイルス感染が子供たちに広が

教育長 令和2年4月から5月にかけて2週間の臨時休業措置のときは、学校側で献身的に家庭訪問等を行った結果、学習が遅れることなく過ごすことができた。今後、家庭待機が長期になるようであれば、プリント学習や自主学習に加えて、パソコンで学べる学習サイトの活用やオンライン授業を行う対策を学校と考えて

村の基幹産業である農 林業振興に伴う、関係 団体・グループ等の育 成支援について

武石議員 農林業の就業者や事業者の関係団体があるが、近年、行政との協議や情報交換の場が少なく、現場の声が行政に反映されていない。村の産業振興を推進していく上で、村や職員が積極的に村民の意見を聞きたい。

武石議員 現在、コロナ感染第6波で保育園、小・中学校等にも集団感染が発生し、急激なスピードで拡大している。村の高齢者は3回目のワクチン接種が始まっているが、今後、1回も接種されていない子供たちへの感染拡大が心配される。国では、各自治体に5歳から11歳の子供にワクチン接種を勧めており、村でも早く種を勧めており、村でも早く種を勧めており、村でも早く種を勧めており、村でも早く種を勧めており、

たいたい。新型コロナウイルス感染症が終息した際には、会議の機会を活用して情報交換をしていきたい。

農業関係については、各種団体の意見を伺いながら、村の施策に反映させていきたい。

村長 新型コロナの影響で中止等となつており、開催ができない。職員も会議等に出席する機会が少なくなっている。

村内の林业関連事業体の方々には2回集まつっていただけで、村の森林活用について意見交換をさせていたいた。今後も定期的に開催する予定である。

農業関係については、各種団体の意見を伺いながら、村の施策に反映させていきたい。

武石議員 農地利用効率化の基盤整備や施設の改良を担う土地改良区等、関係団体への強力な支援をお願いしたい。そしてボトムアップ方式で現場の声を活かし、農林業従事者の意欲を高めていただきたい。

質問

雪により倒壊した

旧木工組合の建物の撤去は

権利者が対応するべき案件



村
長

【萩野芳紀議員】

旧木工組合の建物について

萩野議員 沖田面地区にある旧木工組合の建物が、この冬の雪でつぶれた。昨年の6月定例会でも、美観を損ねるので、何らかの方策で対策が必要と一般質問した。今回は、立て残つてある部分が風により国道に倒壊する可能性があり、危険である。事故になる前に一刻も早く撤去するなどの対策が必要であると考える。対策は考えているか。

周辺の生活環境対応については、隣接する事業所へ注意を促し、状況の変化があつた場合に連絡をお願いしている。

地権者には状況を周知するとともに、情報を共有して今後の対応について検討したい。



雪で倒壊した旧木工組合の建物

除排雪対策について

萩野議員 今シーズンの降雪は例年より多く、大きな影響があつた。屋根の雪下ろしが必要でも、頼める人がいないという声が聞こえてくる。雪下ろしの事故も

羽立から堂川にかけては、直線で自動車のスピードが速い区間となつており危険である。この付近に、「もしもピット」を設置することによって、スピードの抑制を図ることが期待できる。また、大雪時の避難場所や除雪等にも利用できる。旧国道跡の遊休地を活用して整備するなど、村内に数カ所あればいいと思う。村から県に要望する考えはないか。

村長 除雪の一斉出動は午前8時までに作業を終了するようにお願いしている。これは、人や車の活動が少ない時間帯で、安全で効率的な作業を行うことができるためである。降雪の状況によつては、日中も除雪作業を行う場合はあるが、それは、あくまでも臨時的な対応である。除雪作業については、出来る限り雪を道路に残さないよう依頼し、

状況によつては作業のやり直しをさせる場合もある。オペレーターの経験値や機械の性能で作業に差が出てしまつこともあるが、引き続き、丁寧な作業をしていく。



もしもピットくん

「もしもピット」の
増設を

ただくようお願いしていく。

萩野議員 国道285号の羽立から堂川にかけては、直線で自動車のスピードが速い区間となつており危険である。この付近に、「もしもピット」を設置することによって、スピードの抑制を図ることが期待できる。また、大雪時の避難場所や除雪等にも利用できる。旧国道跡の遊休地を活用して整備するなど、村内に数カ所あればいいと思う。村から県に要望する考えはないか。

村長 もしもピットは、携帯電話等使用や休憩を目的に整備されているようである。国道への設置については、関係機関に要望していく。

萩野議員 今シーズンの降雪は例年より多く、大きな影響があつた。屋根の雪下ろしが必要でも、頼める人がいないという声が聞こえてくる。雪下ろしの事故も

今後の定例会日程予定表

| 区分 | 会議名 | 開催年月日 | 曜日 | 会期 (休会を除く日数) |
|-------|---------|-----------|----|-----------------|
| 6月定例会 | 議会運営委員会 | 令和4年6月7日 | 火 | 3日 |
| | 開会 | 令和4年6月14日 | 火 | |
| | 閉会 | 令和4年6月16日 | 木 | |

議会の動き

第1回 議員全員協議会 1月19日(水)

かみこあに保育園の実施設計業務審査結果報告と、山ふじ温泉の指定管理、新型コロナ関連事業、非課税世帯への臨時特別給付金について協議しました。このうち、保育園実施設計については、契約した設計業者からプロポーザルの概要説明を受け、屋根の形状や木材利用について配慮するよう議会から意見を述べました。

第2回 議員全員協議会 2月22日(火)

新年度事業の説明と、新型コロナ交付金について、当局から説明を受けました。このうち、移住定住奨励金については、議員から評価する声が多く出され、さらに踏み込んだ対応を望む意見が出されました。

かみこあに保育園の実施設計の概要と地域おこし協力隊（農業・林業）の活用について、当局から説明を受けました。このうち、保育園の設計業者から、前回からの設計変更点などの説明を受け、精査後の建設工事について、木のぬくもりのある建物にしてほしいと要望しました。

4月1日付けで職員の人事異動があり、事務局長の大沢寿が建設課長に、後任の事務局長に住民福祉課課長補佐の石川悦子が発令されました。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は6月14日開会予定です。
3月定例本会議の傍聴者は8人でした。

むらのわだい

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が終了しました



3回目接種を受付している様子

雪が多く、長かった冬も終わりました。農家の皆さんが忙しくなり、春を感じる季節になりました。

3月の予算議会も終わりましたが、今年度の大きな事業は村民が関心を持つて定住してもらう為にも新しい保育園が必要なのか、子供が増えてから建替えするのか、議員にも色々な意見があります。

今年は、我々も任期最終年度です。収束しないコロナ過で議員活動も制限されていますが、残された一年、村・村民の為に、議員として頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

（佐藤記）

編集後記

編集委員

| | |
|------|----|
| 委員長 | 北林 |
| 副委員長 | 河村 |
| 委員 | 伊藤 |
| 佐藤 | 齊藤 |
| 真子 | 秀明 |
| 義満 | 高 |
| 二 | 良 |